

蕨 工 ニュース

県立蕨崎工業高等学校
第 155 号

総務部
2017.02.28

生徒研究発表会開催

親子ものづくり教室 IN 須玉

スキー教室・関東選抜レスリング大会

関東地区写真展に参加して

生徒研究発表会開催

2月7日(火)、企業・教育関係者等45名および保護者28名、合計73名の来賓の参加を
いただく中、第12回生徒研究発表会を開催しました。今回の発表内容は、企業実習体験発表(ト



ヨタカローラ山梨(株)、昭和産業(株)【敬称略】、土曜活用事業実践発表(プロフェッショナル探究)および工業科6学科
課題研究発表(電子機械科『スターリングエンジンの製作』・電気科『国家技能検定合格を目指して』・情報技術科『ARを使ったオブジェクト表示』・環境化学科『D-リーモネンの抽出』・システム工学科『ロボコンやまなしに参加して』・制御

工学科『ラジコンカーの製作』)の9テーマで、2年生および3年生27名の生徒達が一年間の研究成果を発表しました。生徒研究発表会終了後のアンケートからは、「ものづくりの楽しさが伝わってくる非常にレベルの高い発表が多かった」「生徒達が真剣に取り組んでいる様子が伝わってきた」「数年前も参加したが、今年の研究発表は一段と進歩したと感じた」「生徒達の発表を聞く態度も大変良かった」など、今回の研究発表に対する高い評価をいただきました。



来年度も、今年度の研究発表会の内容を上回る研究成果が得られるように、それぞれの研究・実践に取り組んでいきたいと思ひます。

親子ものづくり教室開催

2月11日(土)須玉町ふれあい館にて「親子ものづくり教室」を開催しました。午前の部(小学生低学年対象)では、遠く高根や大泉からの参加も含め、小学生25名、保護者8名で「ソーラーカー」を作りました。親子で協力し、楽しみながら製作に励み、全員見事に工作物を作り上げました。午



後の部(小学校高学年7名参加)では、同じくソーラーパネルを利用して「腰振りキティちゃん」を作りました。構造的に少し難しいところもありましたが、全員完成することができました。スマホやゲーム遊びが普及し、実際にものづくりを行うのは苦手ではないかという心配もありましたが、参加者は真剣に工作に取り組んでいたのが印象的でした。



URL <http://www.nirasakith.kai.ed.jp>
e-mail info@nirasakith.kai.ed.jp

スキー教室 in 菅平高原

2月15日(水)～17日(金) 1年生を対象に長



野県上田市菅平高原スキー場にて2泊3日のスキー教室が行われました。生徒達は、スキー・スノーボードから自分の興味のある種目を選び、インストラクター



の指導に従い実習を行いました。天候にも恵まれた最高のコンディションの中、一生懸命技術の向上に励み、講習後のナイター自由滑走では、100名程の生徒が、幻想的な雪山での滑りを満喫しました。また、宿舎でも時間を守り規律正しい集団行動で過ごすことができました。今回のスキー教室は、所期の目的が達成され、多くの成果を得ることができた行事となりました。

関東選抜レスリング大会出場

2月4(土)～5日(日)に東京都駒沢体育館で関東高等学校選抜レスリング大会が行われました。冬の合宿等だけが人が続き、主力選手を欠いての参加となった今回、学校対抗戦1回戦は群馬県1位の館林高校でした。50kg級から3階級連続、テクニカルフォールで敗れ、1回戦敗退も覚悟しましたが、66kg級安楽龍馬君、74kg級笹本雅人君、84kg級古川裕貴君が勝利し、最後の120kg級は猪股健佑君が不戦勝となり、辛うじて全国大会への出場権を勝ち取りました。



個人対抗戦では、全8階級中7階級の優勝を、東京、埼玉、千葉の私立高校が占める中、66kg級の安楽龍馬君が公立高校で唯一の優勝を飾ってくれました。そのほか、84kg級の古川裕貴君は3位、74kg級笹本雅人君は5位に入賞し、3月の全国選抜大会への出場権を獲得しました。全国大会でも良い結果につながるように頑張りたいと思います。

関東地区写真展に出場

1月31日から2月5日まで、関東地区高等学校写真展が千葉県立美術館で開催されました。本校からも1作品が出品し、全160点の作品が展示されました。今回の出品作品は、1年生の志村彩乃さん(須玉中出身)の「渾身の響き」で、郷土芸能を題材にしたモノクロ写真です。今年度の高校芸術文化祭で推薦され出品に至りました。今回の写真展では、残念ながら上位入賞はできませんでしたが、今後の活動の参考になる大変貴重な体験となりました。



参加した志村さんは、「情報化が進む今の世の中、スマートフォンなどを使い誰もが簡単に写真を撮ることができます。しかし、あえてカメラの小さなファインダー越しに世界を見ることで、いつもと違った景色に出会えるのではないのでしょうか。その景色をどのように他の人に見せるかが、その人の感性なのだと思います。」と話してくれました。